

## 探訪 チャレンジ企業 51

### 街中のデイサービス デイサービスなごやか葉久伊：羽咋市



デイサービス なごやか葉久伊

#### 一 「お恵み」から「権利」へ 介護サービス制度の変革

ある調査によると高齢者の生きがいは「社会参加」と「健康維持」だという。「社会参加」とは、かみくだいて言えば「人と人とのふれあい」ということになろう。また「健康維持」には「将来の怪我や疾病とその費用負担からくる不安感を払拭すること」も含まれるだろう。

わが国はまもなく人口の三分の一が六十五歳を超える。本来ならば健康不安と療養等による生活苦にさいなまれた人達であふれかえっていてもおかしくはないはずだが、多くの国民は驚くほど平静である。その最大の理由が国民の意識から不安感を一掃した介護保険の創設にあることは疑いない。またこの制度からは、人と人とのつながりを通じたふれあひも、自然と生まれてくるはずである。

このたび、その介護保険が大改正された。今までは、「措置制度」としてサービスの内容を行政側で一方的に決めてきたが、これからは、利用者と事業者が対等の立場で内容を定める「利用制度」として運営されていくことになった。いわば「お恵み」から「権利」へと大転換を遂げたわけだが、これを契機として新たに介護事業に参入したのが、今回御紹介する「なごやか葉久伊」（羽咋市）である。

#### 二 街中のデイサービス 中心市街地の介護施設

介護施設「なごやか葉久伊」を運営するのは「有限会社畝

田屋」である。「畝田屋」といえば、輪島市では著名な存在で、中心街の真ん真ん中、河井町のそのまた真ん真ん中で、宝石、メガネ、時計、オーディオ等を永年にわたって商ってきた老舗中の老舗である。その三代目の和弘氏が「畝田屋」を母体に「有畝田屋」を設立し、羽咋郡市とかほく市をトリトリとする介護施設を発足させた。同氏は前々から夫人の生地羽咋市に移り住んでいたが、このたび縁を求めて市の中心部兵庫町のビルの一階を借り受け、東京の㈱やまねメデイカルと提携して新事業を始めたのである。お隣には本屋さんとコーヒーストアが並び、まさに「街中」と称するのにぴったりの土地である。

提供するサービスは要介護者対象の「通所介護」と要支援者対象とする「介護予防通所介護」いわゆる「デイサービス」である。またケアマネジャーを常駐させて、介護に必要なケアプランを作成する「居宅介護支援」もあわせて行っている。療養や介護等の福祉施設は、今までは「閑静」という理由だけで、人里離れた林間や田園地帯に設置されてきた。しかし高齢者



代表取締役 畝 和弘氏



明るく元気なスタッフ

達は、日頃寂しい思いをしているだけにかえって「街中の賑わい」を求める。そのことに気付いた都市部の事業者達は、人が多く集まる商店街のような地域に福祉施設を設け始めた。都会でも地方でも人情は変わらない。羽咋市にもようやく都市型の介護施設が誕生したのである。

#### 三 特色ある介護サービス 明るく元気になごやかに

同所が提供するデイサービスには、週に二〜三回レクリエーションを兼ねて、入浴、食事や健康チェックを楽しむ一般的なメニューだけでなく、身体の機能回復を目的として、体操に似た動作訓練を繰り返すサービスも含まれる。これが同所の最大の特徴となっており、医師の指導のもと、専任のメデイカルトレーナーによって開発された動作を一定のプログラムに従って反復することで身体各部の機能が強化され、安全歩行

や転倒防止に役立つとともに、万一転倒した時のけがも軽減される優れたサービスである。看護師による「口腔内のケアサービス」と合わせて、「健康に直結したサービス」として、通所者の評価が高い。医療機関との提携による大きな成果であろう。

#### 四 OOLの向上を通じて、 個人の尊厳を尊重 介護に賭けた夢

同所の経営理念は「仁・人・和（個人の尊厳を尊重し老人の幸せを第一に考えること）」である。そのために「通所者のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上に全力をそそぎ、介護者も介護させてもらう喜びを同時に味わうこと」を基本方針とする。この喜びの増幅を目指して、輪島市では、新制度による「小規模多機能施設」を、羽咋市では別法人による「福祉サービス第三者評価制度」の開始を準備中である。これらの事業が一体となって介護を必要とする人達に提供されていくとき、能登の福祉水準は格段に向上する。早期の開設が待たれる。（お問い合わせ）

デイサービス なごやか葉久伊  
〒九二五-〇〇四六  
石川県羽咋市兵庫町  
TEL〇七六七-二二五〇五〇  
巴十三番地一

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。